

「令和元年度千葉県就農相談フェア」の開催

－雇用就農による人材確保に向けた取組－

公益社団法人 千葉県園芸協会
千葉県青年農業者等育成センター

千葉県内で雇用就農を希望する者と、新たな人材を求めている県内の農業法人及び大規模経営体との雇用マッチングを主課題とした相談会が8月3日(土)午前10時から午後4時に、千葉市「蘇我コミュニティセンター」4階多目的ホールで実施されました。本年度で3回目となった本フェアには、昨年度より4社多い17経営体の出展があり、経営体への雇用促進を主目的とした面談と、先輩雇用就農者4名による体験発表及び就農に関する総合案内の3本立てで行なわれました。

会場には54名の就農希望者が訪れ、先輩雇用就農者の体験発表を聞いて就農へのイメージを想起するとともに、経営体のブースを訪問して経営者から直接経営方針や雇用条件などを聞くなど、雇用就農実現に向けて面談が行われました。

来訪者の地域別内訳は、県内からが38名(習志野市1、船橋市4、市川市3、浦安市2、千葉市10、農業大学校6、農業高校2)で、県外からは16名(東京都10他)でした。これら来訪者の内、経営体のブースを訪れたのは33名で、来訪者一人当たり平均2.6ブースを訪問していましたが、ブース毎の面談者数は2～11人で、経営体間の差は大きく、経営作目や経営姿勢、雇用条件などが影響していると感じられました。

今回のフェアは、千葉県及び公益社団法人千葉県園芸協会(千葉県青年農業者等育成センター)が主催し、千葉労働局、一般社団法人千葉県農業協会、一般社団法人千葉県農業が後援して行われ、出展者や関係者など51名が参加しました。

受付風景



先輩雇用就農者の体験発表



面談会場

